

**製品名: ZAK (リン酸化 Ser165) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06118**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	88kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MLTK ZAK HCCS4 Mitogen-activated protein kinase kinase kinase MLT (EC 2.7.11.25) (Human cervical cancer suppressor gene 4 protein) (HCCS-4) (Leucine zipper- and sterile alpha motif-containing kinase) (MLK-like mitogen-activated protein triple kinase) (Mixed lineage kinase-related kinase) (MLK-related kinase) (MRK) (Sterile alpha motif- and leucine zipper-containing kinase AZK)
別名	
遺伝子 ID	51776.0
SwissProt ID	Q9NYL2
免疫原	ヒト ZAK 由来の合成ペプチド (リン酸化 Ser165)

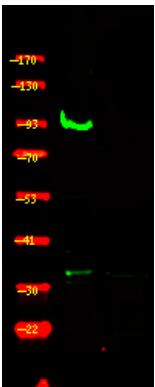
## 背景

触媒活性:ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。補因子:マグネシウム。酵素調節:PKN1 によるリン酸化および Thr-161 と Ser-165 の自己リン酸化によって活性化されます。機能:タンパク質キナーゼシグナル伝達カスケードのストレス活性化構成要素。JNK および p38 経路を調節します。アポトーシス促進性。CHEK2 の直接リン酸化による S および G2 細胞周期チェックポイントの調節に関与。アイソフォーム 1 は、アイソフォーム 2 とは異なり、細胞の収縮とアクチンストレスファイバーの破壊を引き起こします。アイソフォーム 1 は、腫瘍細胞の形質転換と癌の発生に関与している可能性があります。アイソフォーム 1 は、ヒストン H3 の 'Ser-28' をリン酸化しますが、アイソフォーム 2 とは異なります。類似性:タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。MAP キナーゼキナーゼキナーゼサブファミリー。類似性: 1 つのタンパク質キナーゼドメインを含む。類似性: 1 つの SAM (sterile alpha motif) ドメインを含む。細胞内局在: 紫外線 B 照射により核へ移行する。サブユニット: ホモ二量体。PKN1 および ZNF33A と相互作用する。組織特異性: 普遍的に発現する。アイソフォーム 2 は、検討したすべての組織において優勢な形態であるが、肝臓ではアイソフォーム 1 の発現がより高かった。

## 研究分野

MAPK\_ERK\_Growth;MAPK\_G\_Protein;タイトジャンクション;

## 画像データ



HL-60 細胞のウェスタンブロット分析。一次抗体は 1:1000 希釈。二次抗体は 1:10000 希釈。